

柳川市立昭代第二小学校

〒832-0081 柳川市西浜武1490
TEL.0944-72-3334 FAX.0944-72-3364



TOPページ

学校の概要

学校経営

年間行事

特色ある取り組み

校区探検

[総合トップ](#) > [教育・文化トップ](#) > [教育](#) > [小学校](#) > [柳川市立昭代第二小学校](#) > 学校の概要

ADDRESS:

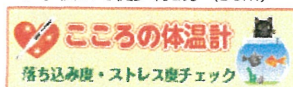
柳川市立昭代第二小学校
〒832-0081
柳川市西浜武1490
TEL.0944-72-3334
FAX.0944-72-3364

ACCESS:

[Googleマップで確認する](#)

西鉄柳川駅から:

西鉄バス早津江行乗車→昭代第二小前下車(15分)→昭代第二小学校まで徒歩約1分(56m)



PDF形式のファイルをご覧いただく場合には、Adobe Readerが必要です。Adobe Readerをお持ちでない方は、バナーのリンク先から無料ダウンロードしてください。

学校の概要

学校の特徴



本校は、沖端川の河口右岸の干拓地の広がる校区にある学校です。写真は、校区を南東側有明海上空からみたものです。
(九州農政局有明海岸保全事務所：撮影＝提供)

●[学校のマップはこちら](#)

本校の位置



●北緯33度9分49秒、東経120度23分10秒、海拔2m63cm

校区の特徴

本校区は、筑後川東岸と沖端川西岸の河口に拓かれた土地です。柳川市の西部に位置します。沖田、長藤、浜武、諸藤、古賀、中野、崩道(くえど)東、崩道中、崩道西・昭南、吉原の各学団があります。全戸数およそ1300戸あまりで、小学校就学戸数は、約159戸で全体の約12%にあたります。保護者の職業は、海苔の養殖を中心とする漁業関係者が全体の約1割弱で、兼業農家が過半数を占めています。

沿革

明治 5年(1872)	全国で学校のしくみが決まる。 吉原に吉原小学校、浜武に浜武小学校ができる。	●吉原小学校卒業証書
6年(1873)	古賀に常習小学校(民家を借りて)ができる。後に古賀小学校という。(先生男2名、男子生徒29名、女子6名)	
8年(1875)	田脇に松丸小学校ができる。	
10年(1877)	浜武小学校。(男先生2名、女先生2名、男子53名、女子8名)	
14年(1881)	三瀬郡十九番学区となる。西浜武村に本校一、分校一をおく。	
18年(1885)	吉原小と松丸小の一部(沖田・長藤・浜武・諸藤)を統合して、濱武尋常小学校が現在の場所に開校する。(初代校長＝野田 廣先生)	
19年(1886)	三力年の簡易科をおく。(尋常科は4年)	

お忙しい方のために、

③ 1 1 5 9 「三瀧荘」について、原文のまま掲載いたします。

・ 郡名 : 三瀧郡 三瀧町 筑後平野中央部 筑後川下流域

・ 領家 : 東寺領・宝荘厳院領・四条家領・安楽寺領
・ 1 5 1 9 - 1 2 紀公領 2 0 町預遺 「三瀧郷の内」
・ 立花在城の時の忠節、妙法寺六郎殿宛 ※入江文書

地頭 : 1 1 4 7 - 1 2 1 3 和田義盛 侍所別当
・ 村地頭に高良宮司（紀氏）

・ 史料村郷名 : 高三瀧・酒見・浜武・木室・八院・五郎丸・福吉・江上・白垣・

境・上小法・下小法・荒木・西牟田・夜明・吉祥今村

・ 明治村字 : 高三瀧・酒見・南浜武・西浜武・本木室・上八院・下八院

藤吉・江上・江上本・上白垣・下白垣・南境・北境・小保・

荒木・下荒木・五郎丸・中木室・江上古町

※ 出典 東寺文書・深江文書・宝琳寺文書・荒木氏文書

下記に、紀氏のルーツに関する調査報告を掲載します。

紀氏のルーツ	紀氏の荘園・姓(国別)	(2 7)
--------	-------------	---------